

筑 紫

会報 第 6 2 号



発行者 社会福祉法人筑紫会 理事長 吉原 毅
 障害者支援施設 真壁授産学園 電話 0296-55-4007
 〒300-4422 茨城県桜川市真壁町亀熊 1464-1
 障害者支援施設 真壁厚生学園 電話 0296-54-2578
 〒300-4422 茨城県桜川市真壁町亀熊 8 5 2
 編集 筑紫会報 編集委員会



ご利用者様が作った雪だるまがお出迎え！ようこそ白銀の世界！（真壁厚生学園）

目次

・行事のお知らせ	1 P
・社会公益活動『FUTARI BUN』	2 P
・マカパン九周年地域交流イベント	2 P
・虐待防止・権利擁護研修報告	3 P
・時代に沿ったハラスメント対策	3 P
・施設内行事・イベント	4 P
・温かいご支援に支えられ	5 P
・就労セミナー開催と就職するとは	7 P
・ありがとう善意の心	8 P
・落花生栽培、そして収穫へ	8 P
・退職者、退所者のお知らせ	8 P
・情報発信のお知らせ	8 P
・編集後記	8 P

§ 行事のお知らせ §

三月	三者面談 (授産・厚生)
五月 一日	合同運動会 終了後帰宅外泊
二日～五日	ゴールデンウィーク休み
五日	帰園日・後援会定期総会
七月 九日	奉仕作業
八月十一日	合同夏祭り 終了後帰宅外泊
十一日～十六日	夏期休暇
十六日	帰園日

お知らせいたします行事につきましては、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、中止となる可能性がございますので、ご理解とご協力の程宜しくお願い致します。

筑紫会の社会公益活動『FUTARIBUNプロジェクト』

プロジェクトチーム代表 吉原大樹
FUTARIBUNプロジェクトとは

①皆さんの温かく優しい応援をコーヒーマスターという形にして、二十四時間気が抜けない全国の福祉職員へ贈る。②お贈りするコーヒーマスターは真壁授産学園で294ROASTERSが一生懸命妥協なしで作った自信作の294COFFEE。(294ROASTERS…真壁

授産学園の職員と施設ご利用者様のチーム)③コーヒーマスターを二人分購入していただき、一杯分を自身に、もう一杯分を福祉施設職員へ贈ることが出来る。④コーヒーマスターを購入していただいた利益は、294COFFEEを製作している障がい者スタッフの工賃として全て支払われる。※これにより施設が利益を得ることは一切ありません。⑤コーヒーマスターを贈られる側も贈る側も製造をする側も幸せになれる。

プロジェクト達成の御礼

令和三年十月一日〜同十一月二十三日まで実施したクラウドファンディング『FUTARIBUNプロジェクト』で、たくさんの方々に応援いただいた結果、購入応援目標金額百万円に対して一、二五八、五〇〇円ものご支援が集まりました。皆様の想いを294C

OFFEEにいっぱい詰め込み、お手紙も添えて全国の施設職員さんへコーヒーマスターとやすらぎのひと時をお届けすることができました。また、目標金額を超えてのご支援分は令和四年一月十一日より溶岩窯パン工房マカパンにて地域の福祉・医療職の方を対象に配布いたしました。

ご購入応援してくださった方、SNSや友人などへご紹介くださった方、本当にありがとうございます。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。皆様とこの企画を通して一緒に誰かのために、誰かを思って、誰かと想いを共有できたことは、当会にとって心を豊かにしてくれ大切な宝物となりました。

筑紫会は本プロジェクトに限らず社会公益活動を継続的に実施してまいります。引き続きご興味のあるプロジェクトがございましたら、また一緒に走っていただければ幸いです。



溶岩窯パン工房マカパン九周年地域交流イベント！

【十一月六日】
九周年地域交流イベントを終えて
マカパン店長 飯島正義

☆多くの方に支えられ

令和三年十月にマカパンは九周年を迎えることができました。共に働くご利用者様、職員、ご父兄の皆様、地域の方々、そしてマカパンに関わってくださった全ての皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

☆コラボレーション

FUTARIBUNプロジェクトでのコラボレーションを契機に、声優・俳優・アーティストとしてマルチに活躍する、いばらき大使の安達勇人さまにマカパンの一日店長を務めていただくこととなり、小規模での開催というところから企画がスタートしました。

☆各活動班の出し物

各作業班の強い思いから、〈コーヒーマスター(294ROASTERS)〉より『294COFFEE』の試飲会・販売会、〈農耕班〉より自然栽培米の『蝶とんぼ』『野菜』の販売会、〈創作班〉では作品の掲示を行う運びとなりました。

☆イベント当日！

安達勇人さまやSNSの宣伝効果が

非常に高く、天候にも恵まれ、ご父兄の皆様や安達さまのファンの方をはじめ、多くのお客様にご来店いただくことができました。このような中、ご利用者様、職員全員が当事者意識を持ち、協力し合い、感染症や怪我、事故等なく、無事にイベントを終えることができました。

☆茨城新聞朝刊掲載

当日の様子は令和三年十一月十九日の茨城新聞朝刊に掲載され、筑紫会の活動や商品を多くの方に知っていただく機会となりました。

☆イベントを終えて

自分たちの思いや考えを一つの形にすることができ、ご利用者様、職員全員が『達成感』だけでなく、一から最後まで『やり抜く力』と『自信』を得ることができたように感じます。

感謝の思いを形に変えてきた周年祭。たくさん笑顔に囲まれて、自身の仕事の意義、やりがいを感じてきただけでなく、地域の方々と貴重な交流の場にもなり、かけがえのない一日となりました。



虐待防止・権利擁護研修 新たな取り組み

眞壁厚生学園 主任 白井 千明

令和三年度報酬改定における障害者虐待防止の更なる推進において①従業員への研修実施②虐待防止のため虐待防止委員会の設置、検討結果の周知徹底③虐待防止のための責任者の設置の三点が、令和四年度から義務化となっています。そのことを踏まえた上で、虐待防止及び権利擁護の研修を受講してまいりました。

●現状

筑紫会では年に一回以上従業員への研修を行い、虐待防止委員会を開催し虐待について会議を行っています。また、筑紫会だけでなく、大半の福祉事業所の虐待防止委員会は責任を持ち虐待防止に取り組んでいると考えられます。しかし、痛ましいことに毎年ニュースやラジオ等で福祉施設での虐待が報道されているのが現状です。

●背景

虐待発生の一因として、『教育・知識・介護技術等に関する問題』や『職員のストレスや感情コントロールの問題』が挙げられています。今後はますます職員への教育、ストレスチェック・メンタルヘルスクーア等を強化しなければならぬと強く感じました。

●虐待を起こさない為に

虐待の要因から分かるように職員の教育・知識・技術向上の支援、ストレスの緩和、メンタルコントロールの問題をどのように解決していくかが福祉業界における今後の課題です。筑紫会として、一福祉従事者として、法人全体が一丸となって考えていかなければならないと感じています。そのためにも、虐待防止委員会の強化と職員の教育やメンタルヘルスクーアに力を入れ、理事長が掲げている『全員野球』の姿勢で施設内での虐待防止に努めていきたいと思っています。

●最後に・・・

今回の研修後、虐待について考え、虐待は周囲の環境に影響され、発生してしまうのではないかと感じました。心に余裕がないと些細なことまで心が乱されてしまいます。職員一人ひとりが気持ちに余裕を持ち、穏やかに仕事ができる環境を作り上げて行く必要があります。であり、ご利用者様の安心・安全を確保できるように、虐待防止に全力を注いでいきたいと思っています。



時代に沿ったハラスメント対策

この度、改正労働施策総合推進法の施行により、令和四年四月より事業主にハラスメント防止措置を講ずることが義務化されることに伴い、授産学園吉原事務局長主催の研修会が九月、十月、十二月に実施されました。また、県社会福祉協議会主催のリモートによるハラスメント研修も実施され、ハラスメント担当者が受講しています。いずれの研修においてもハラスメントの基礎知識や定義について学び、主に事例を中心とした研修を受けています。

●ハラスメントの種類

ハラスメントは種類も多く、パワーハラスメント、セクシュアルハラスメント、マタニティーハラスメントなどがありますが、最近では、性に関する固定観念や差別意識にもとづく言動を指すジェンダーハラスメントというものもあります。社会全体で約一割いるというLGBTQIAの方々に対する理解が求められています。

●パワーハラスメントについて

職場におけるハラスメントとしてはパワーハラスメントが圧倒的に多いとのことであり、行為類型は6つに分けられています。①暴行などの『身体的な攻撃』②脅迫、侮辱などの『精神的

な攻撃』③無視、仲間外しなどの『人間関係からの切り離し』④業務上遂行不可能なことを強制する『過大な要求』⑤能力とかけ離れた程度の低い仕事しか与えない『過小な要求』⑥私的なことに過度に立ち入る『個の侵害』が挙げられています。そして、『優越的な関係』業務上必要かつ相当な範囲を超えたもの『労働者の就業環境が害されること』のこの3つの要素がすべて満たされた場合にパワーハラスメントに該当することとなります。

●職場内における注意点

一方で、客観的に見て業務上必要かつ相当な範囲で行われる適正な業務指示や指導はパワーハラスメントに該当しません。また、ハラスメントか否か見極めの難しいグレーゾーンのケースもあるとのことでした。加害者や被害者の意識の違いから生ずるコミュニケーションギャップが問題の理解を困難にしていることが多いため、普段から上司部下の信頼関係の構築がより重要となってきます。

●ハラスメント防止の為に

ハラスメント行為をした者の責任として、損害賠償の請求や、名誉棄損の罪に問われる等、社会的地位、信用を失う可能性があります。法人内でのハラスメント防止のため、共通の意思疎通を職員間で図れるよう、今後も継続した研修を行いたいと思います。

今年最後の思い出作り！クリスマス会

【真壁厚生学園 十二月二十五日】

☆豪華なメニューに舌鼓

ご利用者様の毎年の楽しみであるクリスマス会の時期が今年もやってきました。無事にクリスマス会当日を迎えることができ、皆様笑顔で会場入り。クリスマス会当日が待ち遠しかったご利用者様の目の前にはオードブルやピザ、フライドチキンやカラフルなケーキなど豪華な料理がテーブルいっぱい

に並べられています。厨房職員により手作りのポテトサラダやコッペパンサンド、色とりどりのフルーツが提供され、より一層料理に華を添えました。

ジャンメリーを片手に乾杯をしたら楽しい時間の始まりです！口いっぱい

☆練習の成果を披露！

食事を終えると、全員で『あわてんぼうのサンタクロース』を合奏し、より一層クリスマスの雰囲気。日中活動や余暇時間で練習した『ABC体操』も披露し、会場全体が一体感に包まれました。

☆サンタさんからのプレゼント♪

いよいよ皆様が待ちに待っていたサンタさんの登場です！トラやウサギの



着ぐるみや制服を着た職員、かわいい女装サンタもお友達として登場し、会場は大盛り上がり！欲しかったクリスマスプレゼントをサンタさんから受け取ることができ、嬉しさが込み上げている皆様の表情が印象的でした。

プレゼントを受け取った後は、サンタさんや着ぐるみのお友達と記念写真を撮ったり、プレゼントを嬉しそうに職員に見せたりと、思い思いに満喫しました。

☆また来年・・・

楽しい時間はあっという間でしたが、ご利用者様のたくさんの笑顔が見られ、肌寒いこの季節を少しでも暖かく感じさせてくれる素敵な一日となりました。ご利用者様からは「楽しかった！」「来年も楽しみ！」といった声が聞かれ、素敵な思い出になったようです。

【真壁授産学園 十二月二十五日】

♪楽しい時間の始まり！

待ちに待ったクリスマス当日、毎年恒例のクリスマス会を開催しました。実行委員から開幕の挨拶が終わると、ご利用者様からの呼びかけでサンタさんが登場です！サンタさんを拍手と歓声で迎え、会場は一気に盛り上がりを見せました。

♪盛り上がったビンゴ大会

クリスマスソングの流れる会場にビンゴの景品がズラリと並び、ビンゴ大会の準備が整いました。一人一人がビンゴカードを持ち、いざビンゴ開始！ところが一向に「ビンゴ！」の声が上がらず、ドキドキハラハラの時間が過ぎて行きます。ようやく「ビンゴ！」の声が上がると皆様拍手をして喜んでおり、その後続々とビンゴになったご利用者様が出て来て、サンタさんから豪華な景品を受け取りました。

クリスマスの時期ということで、景品は暖かいセーターやマフラー、そしてクッションなど。「これかわいいね！」「欲しかったものが当たったよ！」と皆様当たった景品を嬉しそうに見せ合っていました。

♪ステージ披露

ビンゴ大会を終え、午後の部ではご

利用者様によるステージ披露を行いました。まずは、創作活動班の皆様によるダンスと合奏の披露です。ダンスでは人気アニメ『鬼滅の刃』の主題歌をタオルダンスにアレンジして披露し、合奏では活動班のご利用者様全員でクリスマスソングを合奏しました。また、ダンスが得意なご利用者様のダンスステージもあり、皆様手拍子をして大いに盛り上がりました。

♪素敵な特別メニュー

クリスマスの特別メニューとして、昼食はいなり寿司やフライドチキン、ポテト等の豪華なクリスマスメニューが提供されました！そして、おやつ

時間には色とりどりのクリスマスケーキを食べ、今年のクリスマス会も大成功に終わりました。

両施設とも感染症対策を徹底した上で、今後も学園内でできるイベントや行事を企画し、ご利用者様が安心して楽しめる時間を提供していきます。



趣向を凝らしたミニイベント

ミニ学園祭【真壁授産学園】

【十一月二十三日】

今回の『ミニ学園祭』は規模を縮小し、授産学園独自の行事として開催しました。一般のお客様の来場、ご父兄の来園、外部からの催し物の方々の来場はお控えいただき、『施設にいる方が主役』という考えのもと開催しました。職員一同、ご利用者様が安全に楽しめる学園祭にするべく、趣向を凝らして企画してきました。

◆カラオケまつり

園舎前園庭で『カラオケまつり』を開催しました。小さいながらもステージを作り、模擬店のテントも張ってさながら「あれ、いつもの学園祭みたい！」という声が聞かれました。二十組のエントリーも得て、審査員あり、商品もありで本格的なステージとなり、他の方の歌を聞いていると、「僕も！」「私も！」と飛び入り参加したい要望も多くの方から挙がりました。

◆お待ちかねの模擬店

昼食は、模擬店の焼きそばやクレール、フランクフルト、学園オリジナル新商品である294コーヒーなど、さまざまな美味しい食べ物を目一杯堪能しました。

◆サプライズ企画！

職員の出し物によるサプライズ企画として、ジャニーズメンバーに扮した園長以下、男性職員によるカラオケを行い、文字通り、黄色い声援が飛び交いました。女性職員はダンスパフォーマンスを披露し、観客の皆さんも一緒に踊りだすなどの熱狂ぶりでした。

◆未来への期待

最後は恒例の豪華賞品が当たるビンゴ大会でしたが、数字が読み上げられるたび、皆さん、一喜一憂する姿が印象的でした。

今回、この『ミニ学園祭』を開催するにあたって、ご利用者様の悶々とした気持ちを無くしたい、このコロナ禍の影響で休止になった行事がたくさんあり、舞台装置やテントの設営、模擬店の展開など、後に繋がるものとして記憶にとどめておきたいという思惑もありました。

近い将来、コロナが収まってまた学園祭が開催されますこと、多数の皆様の笑顔溢れるご来園を心から切に待ち望んでおります。



★収穫祭【真壁授産学園】

十月三十日

学園で収穫した自然栽培米を使用し、収穫祭を実施しています。

◆晴天の中でおいしいご飯

天気にも恵まれ晴天の下、園庭にブルーシートを敷き、食事を開催しました。園長による挨拶の後、生産部を代表して齋藤支援員から自然栽培米の栽培過程、おいしさの秘密など説明がありました。

◆メニューは絶品スープカレー！

献立はスープカレーとごはん、サラダ、ヤクルトです。できれば普段あまり食べる機会のない献立にしたいと考え、決まったスープカレー。具材は、主に施設で収穫した野菜を使い、最初に白米として、自然栽培米そのものを味わってもらった後、カレーも堪能していただきました。

◆皆さん大絶賛でした！

ご利用者様からは、揃って「美味し いね！」「声が飛び交い大好評でした。また、飲み物も五種類用意し、好きな物を自由に選んでいただきました。皆様からは、「スープカレー美味しいね」「お腹一杯になったよ」「うまい！」など、笑顔が多く見られ、無事に収穫を祝うことができ、盛会のうちに終了しました。

★クラブ活動【真壁授産学園】

今年度十月より、登園日でのクラブ活動を開始し、日中活動の充実を図っています。ご利用者様には、登園日ごとに運動クラブ、生活クラブ、芸術クラブの三種類から好きな活動を選んで参加していただきました。

◆運動クラブ

ご利用者様の体力維持、向上、気分転換、ストレス発散などが目的です。種目は、バトミントン、ポートボール、フライングディスク等で楽しく体を動かします。

◆生活クラブ

皆様の要望を伺いながら、ホットケーキ、フルーチェ、ケーキ作り等、調理を中心に、生活に関わる活動を展開しています。

◆芸術クラブ

クリスマスリース作りやハロウィン飾りの作製、果物の写生などを行い、参加された方々に好評いただきました。

ご利用者様がより良い学園生活を送れるよう今後もサポートしていきます。



秋のフキ運動会 & ハロウィン 〜真壁厚生学園・創作活動班〜

今年度も季節が巡り、過ごしやすい秋がやってまいりました。今回、創作活動班でフキ運動会やハロウィンのレクリエーションを企画しました。

○フキ運動会

【十一月二日】

運動会の始めに、代表のご利用者様に選手宣誓をしていただき、「正々堂々戦う事を誓います!」といった高らかな宣言の後、二つのチームに分かれて競技開始しています。

運動が苦手な方でも可能な限り体を動かす事ができるよう、大玉転がしや玉入れ、輪投げにポッチャ等、様々な競技を行いました。のんびりと個人戦を楽しむ競技もあれば、白熱した団体戦もあり、思い思いに体を動かしていただきました。



もちろん運動会の花形であるリレーも華々しく行い、ゴールに向かって一生懸命バトンを繋ぐご利用者様に大

きな声援が飛び、全員が一緒になって盛り上がりました。晴れ晴れとした秋空の下、みなさん力を出し切り、思いっきり運動を楽しんでいただくことができました。

○ハロウィン

【十月十九日】

別日にはハロウィンイベントを行っています。ご利用者様に驚き楽しんでいたためにサプライズを仕掛け、通常の活動中に仮装した職員が各活動場を巡ってお菓子を渡しに行きました。ご利用者様は普段とは違った職員の姿に、「あの職員は誰だ!」「びっくりした!」と喜んでいました。また、サプライズプレゼントのお菓子も笑顔で頬張りました。

創作活動班のみのイベントではありませんでしたが、皆さん無理の無い範囲で体を動かしたり、美味しいお菓子を食べたりと、心身ともに満たされた表情が見られました。



のど自慢大会 開幕! 【真壁厚生学園】

【九月二十五日】

☆いざ、特設ステージへ!

歌うことが大好きなご利用者様に、思いっきり歌声を披露していただきたい!そんな思いを胸に、職員手作りの野外ステージが設置され、ご利用者様は大喜び。歌いたい曲をリクエストしていただき、点数を競いました。

☆熱唱に次ぐ熱唱

最近のヒット曲から昔懐かしい曲まで。思い出の歌だからこそ、ご利用者様の気合の入った熱唱がグラウンド中

福よ、こい!

開運!ワークシヨプ大会 【真壁厚生学園】

【十一月二十三日】

みんなで熊手作り!

新年が良い年になるよう、ご利用者様が想いをこめて縁起物の熊手を作りました。

熊手を飾る材料として、松や小判、おかめの折り紙やつまみ細工の梅の花など、趣向を凝らしたものを多数用意し、好みの飾りでデコレーションしていただきました!

に響き渡りました。最後には上位十名のご利用者様を発表し、職員手作りのメダルを贈呈しました。歌い切った満面の笑みを浮かべる方や、ピースを掲げて喜ぶ方など、ご利用者様の表情が印象的でした。

☆歌って遊んで大満足!

カラオケの他にも射的や駄菓子屋が用意され、学園祭のような雰囲気の中、大いに盛り上がりました。日頃のストレスが発散され、素敵な一日を過ごせたのではないかと思います。



素晴らしい出来映えに

初めは戸惑うご利用者様も目立ちましたが、用意してあった見本以上に、素敵な熊手が多数できあがりしました。見ているだけでご利用者様の様々な想いが伝わるような完成度でした。

美味しい昼食も堪能

昼食には具沢山のすいとん。感染症対策も兼ねて、外での食事であったため、新鮮な気持ちで温かいすいとんを美味しく食べました。



温かいご支援に支えられ

現在も引き続き、猛威を振るう新型コロナウイルス感染症防止対策として、施設外行事や外泊・外出を控え、小規模での行事を楽しみに施設内で生活しているご利用者様。安全面を第一に、昨年度に引き続き、施設内で年越し、お正月を迎えることとなりました。そんな中、年末年始を少しでも楽しく過ごせる企画を準備するため、寄附を募ったところ、多くの皆様からご協力をいただくことができました。

▼寄附（順不同）

堀越栄治郎様／浅野敬繁様／高田章様
榊フリーダムコーポレーション 柴山様
安藤昌知様／細野庸一様／根岸定雄様
袖山裕展様／斉藤俊夫様／古澤道子様
飯島直様／小須田すみ江様／根本明様
豊島洋子様／寺崎一夫様／鳴原康博様
広岡久様／齊藤弘様／上之門百合子様
君山誠様／皆川美智子様／西村悦子様
木口茂様／笹目俊夫様／田中美智子様
正根知進様／内藤俊彦様／大野竜也様
飯塚勝男様／中村講治様／高松三夫様
村山英雄様／早川美保様／飯田正夫様
坪野谷隆夫様／柴吉力様／柴宗徳様
小竹初美様／森下松寿様／野寺道子様
森田悦子様／川津忠男様／工藤忠男様
栗島民男様／石山世喜子様／戸辺満様

郡司さい様／松崎伸夫様／村山道春様
榎戸斗史夫様／沼尻功様／佐藤義夫様
後藤愛子様／伊藤勝也様／加藤梅子様
油原邑江様／岡部正敬様／谷畑茂夫様
高橋良男様／小田島郁夫様／和田徹様
富田良子様／前川恵美子様／飯村久様
佐川正行様／鈴木省一様／広瀬均一様
根本キイ様／岩渕二郎様／大塚たま様
植松光子様／酒寄輝和様／小池初美様
中里大祐様／山中哲夫様／渡辺久枝様
臼井猛様／山中弘様／小島美代子様
青木蒼大様／吉原毅様／臼井千明様
栗田実様

▼うち、年末年始協力金

二、〇七八、〇〇〇円

両施設の新年会の行事費用、ご利用者様へ新年のお年玉、真壁授産学園特製コーヒートマカパンのパンのセットをお年賀として、それぞれに使用させていただきました。

ご父兄様並びに多くの皆様にご協力ご支援をいただき、厚く感謝申し上げます。

この場をお借りいたしまして御礼申し上げます。



『就職する』とは【真壁授産学園】

▼就労セミナー

ご利用者様の要望により、園長が中心となって企画された『就労セミナー』。一月で開始から六回目を迎えました。新型コロナウイルス感染症拡大により、ご利用者様の就職に繋がる実習や催し物の機会が減っていることもあり、将来の不安や疑問を少しでも解消し、見通しを立てやすくする目的で、セミナーを定期的に開催しています。

▼ご利用者様が考える就職とは？

就職する理由について尋ねたところ「親を安心させたい」「他の人から認められるため」「色々な仕事を覚えていきたい」「自立したい」と様々な考えを率直に聞くことができました。その反面、『就職』についての知識は「働くこと」「お給料をもらうこと」と大まかであり、就職に対する具体的なイメージを持つことが難しい印象でした。

▼取り組み

第一回、第二回では、ご利用者様の考える仕事の意義を『生活』や『働くこと』の講義を通して照らし合わせていきます。意義の捉え方はそれぞれですが、【世の中に喜んでもらえる仕事をしたい】【世の中に貢献できる】ことを仕事の意義として捉え、ご利用者様に情報を発信しています。

第四回は、様々な業種や職種について

の説明を行い、種類の多さに皆様驚きつつ、真剣な表情で耳を傾けていました。このセミナーに参加している皆様は、就職に対する目標を持って日々生活しています。一番身近にある仕事として、マカパンやコーヒート作業を例に挙げて説明することで、イメージを膨らませ、興味を持って参加していただくことができました。

第三回、第五回では、仕事を視覚的に捉えてもらうために動画の視聴を行いました。実際に見てみたい職業をピックアップし、多くの声の挙がったコンビニエンスストアや清掃の仕事について、視聴していただきました。

▼感想・今後の方針

セミナーの感想を尋ねると、「自分のしている仕事、何かしらで誰かの為にやっているということを知ることができ、就労の意義を知ることができた」「みんなの役に立っていることが実感できてうれしい」と前向きな言葉が聞かれました。

セミナーを通して、ご利用者様の仕事に対するイメージを具体化し、職業選択の幅を広げることで、就労意欲の向上に繋がられるサポートができたように感じました。

今後も就労に関する要望に応え、寄り添いながら支援してまいります。

ありがとう 善意の心

ご父兄の皆様より、この度もタオルや雑巾、洗剤、お米、飲み物や果物、お菓子等々、たくさんいただきました。タオルや雑巾、洗剤は、毎日の掃除、洗濯に使わせていただき、大変重宝しております。また、お米や果物、お菓子、飲み物は、食事やおやつでいただきました。好きなものばかりで、皆で大変おいしくいただきました。ご父兄の皆様のお気遣いに感謝申し上げます。

大塚 たま 様 工藤 忠男 様
根本 明 様 浅野 敬繁 様
白井 猛 様 小池 初美 様
高田 章 様 豊島 洋子 様
石山 世喜子 様 斉藤 俊夫 様
広瀬 均一 様 森下 松寿 様
細野 庸一 様 柴 吉力 様
根岸 定雄 様 油原 邑江 様
嶋原 康博 様 君山 誠 様
小須田すみ江 様 根本 キイ 様

(順不同)

両学園の事業にご支援頂き

誠にありがとうございます。

この場をお借りいたしました。

御礼申し上げます。

落花生栽培 収穫へ！

真壁授産学園・厚生学園の合同プロジェクトとして、今井落花生さんの協力を得て、落花生の栽培を進めてまいりました。ご利用者様と職員が一丸となって作業に当たり、大きくて質の良い落花生ができました。

☆収穫までの道のり

六月 種まき

今井落花生さんのマルチ貼りと藩種を同時に行う技術をお借りし、短時間で一気に種をまくことができました。

そこからは、自然と伸びてくる雑草との戦いです。品質を少しでも向上させるべく、ご利用者様と職員が協力し合い、草取りに精を出しました。

十月 収穫・乾燥

丸く実がなったら機械で株を抜きます。広大な畑いっぱい広がる株を、これまたご利用者様と職員でひっくり返し、乾燥させます。

ご利用者様も本領を発揮させ、株をひっくり返す方、ビニールを剥がす方、落ちている落花生を集める方と、得意な分野で頑張りました！

退職者、退所者のお知らせ

▽退職者

11/20付

支援員 岩井 麻莉 (授産)

11/30付

調理員 土田 良子 (厚生)

▽退所利用者

退所ご利用者様【通所】

11/29付 渡辺 壮馬 (授産)

十一月 脱穀・仕分け

十分に乾燥したら、脱穀機にかけて枝から実を外します。脱穀が終わったら、不良を選別しながら取り除き、ついに収穫の完了です。

☆時間を掛けて頑張ったからこそ

およそ半年にわたり、丹念に栽培してきた落花生。見て下さい、頑張ってきたからこそ、この笑顔！ご利用者様も職員も、ひとしおの喜びでした。

これからもご利用者様と職員で協力し、美味しい落花生を作っていきます。



苦情受付・相談

令和三年度苦情受付のご報告を致します。

今年度の苦情受付は0件でした。今後ともご利用者様やご父兄の皆様が安心できるような施設運営に尽くして参ります。よろしくお願い致します。

◎筑紫会苦情受付担当

真壁授産学園 高橋・保坂

(0296・55・4007)

真壁厚生学園 吉原(晴)・杉山

(0296・54・2578)

SNS更新中

各SNSにて、ご利用者様の日々の活動の様子を更新しています。

●Facebook



●Instagram



編集後記

新型コロナウイルスに隠れて、ノロウイルスも流行ってきております。お身体には十分にお気をつけください。今年度は、和田・枝・廣・高信・檜山(授産)、平井・宮田・高久・岡本・木村(厚生)が編集いたしました。